



さんむ医療センターからのお知らせ



◆整形外科のご紹介

各疾患別の専門医が幅広い年齢層の患者様に対応

整形外科では、骨・筋肉・神経などの運動器疾患の治療を行っています。腰痛、関節痛、神経痛など、誰もが一度は経験されている症状が対象であり、代表的な疾患は外傷による骨折や腱靭帯損傷、変形性関節症、脊柱管狭窄症や椎間板ヘルニア、骨粗鬆症とそれに伴う脆弱性骨折、腱鞘炎や手足の神経障害など幅広い分野にわたります。当院整形外科は、千葉大学病院整形外科の関連施設として大学病院と連携しており、現在常勤医8人、非常勤医6人体制で、各医師の専門性を活かし診療しております。数名が城西国際大学理学療法学科の非常勤講師を兼任しており、大学生への講義も担当しています。近年日本は超高齢化社会をむかえていますが、特に山武郡市は全国平均より高齢化が進んでいる地域であり、手術前後のリハビリテーションや骨粗鬆症の予防と啓蒙活動にも力を入れています。年々手術件数は増加しており、最近では年間に800～900件程度の手術を行っています。

患者さんの病状や思いは一人一人異なります。さんむ医療センターで治療を受けて良かったと言っただけのよう、スタッフ一同、専門性が高く、かつ、安心して安全な医療の提供を目指しています。

脊椎疾患

石川・海村の2人の脊椎専門医が診療しています。レントゲン、CT、MRIなどの検査のうえで投薬などの保存治療、超音波ガイド下やレントゲン透視下の神経ブロック治療、椎間板内酵素注入療法（ヘルニコア）、手術治療を行っています。年間の手術件数は150件前後で、手術内容は腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症、脊椎骨折、頸椎椎間板ヘルニア、頸椎症、変性後側弯症などで、顕微鏡を使用した傷口の小さい低侵襲手術や経皮的椎体形成術（バルーンカイフォプラスティ）からインプラントを使用した脊椎固定術まで幅広い手術を行っています。

関節疾患

葛城・佐々木の2人の関節専門医が診療しています。それぞれ葛城は膝・足やスポーツ障害、佐々木は肩関節や上肢のスポーツ障害を専門としています。大前医師（非常勤：隔週水曜日）は股関節膝関節などの人工関節やリウマチ疾患を専門としています。人工関節、関節鏡視下腱板修復や半月板手術、高位脛骨骨切り術、靭帯再建など、年間250件前後の手術を行っています。

手上肢疾患

大学病院より毎週水曜日に手の外科専門医（2020年度は山崎医師）が診療しています。腱鞘炎、ばね指、ガングリオン、手指の複雑な骨折、末梢神経損傷、外傷後の機能障害など、手指上肢の疾患が対象となります。必要な方には専門的な手術も行っています。

骨粗鬆症リエゾンサービスチーム

看護師、放射線技師、薬剤師、検査技師、理学療法士、管理栄養士などの多職種が、骨粗鬆症学会が認定する骨粗鬆症マネージャーの資格を取得し、山武市や東金市などの行政と連携し講演などの啓蒙活動を行っています。出張しての講演や動画コンテンツ作りなどに取り組んでいます。

（各医師の外来担当曜日、受診受付時間については、病院までお問い合わせください）

地方独立行政法人さんむ医療センター

医療部長、整形外科部長 いしかわ てつひろ 石川 哲大

☎ さんむ医療センター

☎ 0475 (82) 2521 (代表番号)



▲整形外科スタッフと石川医師（前列右から2番目）